

# ベストシナリオ（世界バランス55DI）

## 2023年度 特別勘定の現況

### ●投資環境（2023年度）

#### 日本株式市場

当年度の国内株式市場は上昇しました。年度初は、円安による企業業績拡大への期待や東証がPBR（株価純資産倍率）1倍割れの企業に対して資本効率の改善を求めたことが好感されて、国内株式市場は上昇しました。その後、利益確定売りによる一時的な下落局面を挟みながらも米国長期金利の先高観の後退などを背景に、国内株式市場は堅調に推移しました。年度後半に入ると、米国においてインフレ率の高止まりから金融引き締め長期化への懸念が高まったほか、中東の地政学的リスクや日銀の金融政策変更への警戒感などから一旦は売りが優勢となったものの、その後は、金利上昇への過度な警戒感が緩和されたことから、国内株式市場は再び上昇に転じました。2023年末にかけては、為替が円高に動いたことなどを背景に、国内株式市場はボックス圏での推移となりましたが、2024年に入ると、再度円安に転じたことや新NISA開始に伴う資金流入など良好な需給環境への期待などを背景に大きく上昇して当年度を終えました。

#### 外国株式市場

当年度の外国株式市場は上昇しました。年度初、米国CPI（消費者物価指数）の伸びが鈍化傾向にあったことなどからFRB（米連邦準備制度理事会）による利上げ懸念が後退したことや、2023年4-6月期の企業決算が事前予想をおおむね上回ったことで景気減速懸念が後退し、外国株式市場は上昇しました。年度半ば以降は、大手格付会社が米国の国債や銀行の格付を引き下げたことを受けて金融システムの健全性への懸念が高まったことや、中東で地政学的リスクが高まったことなどから、外国株式市場は下落したものの、12月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で政策金利が据え置かれ、また2024年内の複数回の利下げが示唆されるなどインフレ鈍化を背景とした各国中央銀行による緩やかな利下げが視野に入りつつあり、世界経済を下支えするとの期待から、年度末にかけて上昇基調となりました。

#### 日本債券市場

当年度、10年国債利回りは上昇しました。根強いインフレ圧力を背景に、欧米中央銀行が政策金利の引き上げを継続し、世界的に国債利回りが上昇したことを受けて、日本の10年国債利回りも年度初から上昇しました。2023年7月の日銀金融政策決定会合では長期金利の変動許容幅を±0.5%程度を目途とするなど、YCC（イールドカーブ・コントロール）政策の柔軟化を決定し、10月にも指値オペの水準に関して1.0%を目途とするなど、さらなる柔軟化を図ったことから、10年国債利回りは一時0.9%台まで上昇しました。その後は、欧米中央銀行の年内利下げが意識されるなかで10年国債利回りは一時0.6%を下回りましたが、堅調な春闘による賃上げの結果が発表されたことや2024年3月の金融政策決定会合でマイナス金利の解除とYCC政策の撤廃などが実施されたことを受けて、年度末にかけて再び上昇して当年度を終えました。

#### 外国債券市場

米国債利回りは上昇しました。年度前半は、米国の地方銀行の破綻を受けた金融システム不安が後退したことや堅調な経済指標を背景としたFRBの金融引き締めに積極的な姿勢を受けて米国債利回りは上昇基調で推移しました。その後、米国で雇用統計やCPIに落ち着きが見られたことを背景にFRBによる金融引き締め姿勢が後退したことから、米国債利回りは低下しましたが、年度末にかけては堅調な経済指標が確認されたことやFRB高官の早期の利下げに対する否定的な発言などから、再度上昇に転じて当年度を終えました。

ドイツ国債利回りは当年度を通じてはおおむね横ばいとなりました。年度前半は、資源価格の高騰などを背景に欧州域内でのインフレが高進するなか、ECB（欧州中央銀行）が金融引き締め姿勢を維持したことから、ドイツ国債利回りは上昇基調で推移しました。その後、ユーロ圏の経済指標が軟調であったことや米国債利回りに連動してドイツ国債利回りは低下しましたが、年度末にかけてはECB高官の早期利下げ期待を牽制する発言などから、再度上昇に転じて当年度を終えました。

#### 外国為替市場

米ドル円為替レートは、円安米ドル高となりました。年度前半は日銀が金融政策を修正しつつも金融緩和姿勢を維持した一方、FRBは金融引き締め姿勢を継続したことから、日本と米国の金利差が拡大し、円安米ドル高基調で推移しました。その後、FRBの金融引き締め姿勢が後退したことや、日銀による金融政策修正への期待が高まったことから日米金利差が縮小し、円高米ドル安となる局面もありましたが、年度末にかけて、堅調な米国の経済指標を受けて米国債利回りが上昇したことや、石川県能登半島地震の影響から日銀による金融政策修正への期待が後退したことなどを背景に、再度円安米ドル高が進行しました。ユーロ円為替レートは、インフレの高進を受けてECBが金融引き締め姿勢を継続し、政策金利を高い水準で維持したことなどから、円安ユーロ高基調となりました。

### ●運用実績の推移および運用方針

- ①当期の運用実績の推移 特別勘定の運用状況をご参照ください。
- ②当期の運用方針 当社は、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。
- ③今後の運用方針 当社は、今後とも特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

当社は2023年度決算(決算日：2024年3月31日)を行いました。当資料は2023年度の運用状況をご報告するものです。

3ページ以降は特別勘定レポート(2024年4月発行(2024年3月末現在))からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。

## ●特別勘定資産の内訳(2023年度末)

(単位：百万円)

区分	金額	
	世界バランス 55DI	
現預金・コールローン	0	
有価証券	2	
公社債	-	
株式	-	
外国証券	-	
公社債	-	
株式等	-	
その他の証券	2	
貸付金	-	
その他	-	
貸倒引当金	-	
合計	2	

※単位未満切捨て

## ●特別勘定の運用収支状況(2023年度)

(単位：百万円)

区分	金額	
	世界バランス 55DI	
利息配当金等収入	0	
有価証券売却益	-	
有価証券償還益	-	
有価証券評価益	1	
為替差益	-	
金融派生商品収益	-	
その他の収益	-	
有価証券売却損	-	
有価証券償還損	-	
有価証券評価損	0	
為替差損	-	
金融派生商品費用	-	
その他の費用及び損失	-	
収支差額	0	

※単位未満切捨て

## ●有価証券の売買状況(2023年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
世界バランス 55DI	DIAM 世界バランスファンド 55VA (適格機関投資家限定)	-	-	27	29

※単位未満切捨て

## ●保有契約高(2023年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
年金受取総額保証付変額個人年金保険 GF ベストシナリオ (世界バランス 55DI)	1	2

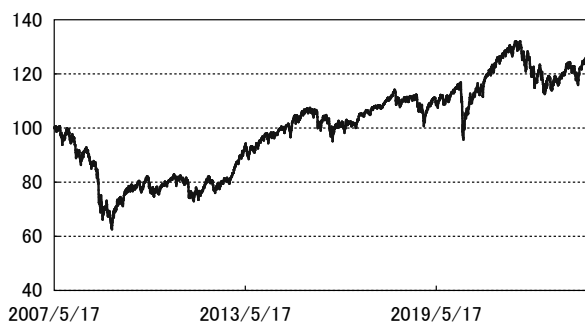
※単位未満切捨て

## ●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総合型	世界バランス 55DI	DIAM 世界バランスファンド 55VA (適格機関投資家限定)	アセット マネジメント One 株式会社	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。外国株式部分については原則として為替ヘッジを行い、外国債券部分については原則として為替ヘッジを行いません。基本資産配分は、日本株式 10%、外国株式 (ヘッジあり) 45%、外国債券 (ヘッジなし) 15%、日本債券 (短期金融資産を含む) 30%です。

## ●特別勘定の運用状況(2023年度末)

### ●ユニットプライスの推移



### ●ユニットプライスの期間収益率

	ユニット プライス	前月比	期間収益率 (左記基準日より 2024年3月末現在まで)
2023年3月31日	118.27	0.80%	10.43%
2023年4月30日	119.41	0.96%	9.38%
2023年5月31日	120.17	0.64%	8.69%
2023年6月30日	123.31	2.61%	5.92%
2023年7月31日	123.89	0.47%	5.42%
2023年8月31日	122.74	-0.93%	6.41%
2023年9月30日	119.57	-2.58%	9.23%
2023年10月31日	116.34	-2.70%	12.26%
2023年11月30日	122.22	5.05%	6.87%
2023年12月31日	124.49	1.85%	4.92%
2024年1月31日	126.27	1.43%	3.44%
2024年2月29日	128.27	1.59%	1.82%
2024年3月31日	130.61	1.82%	-

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
前月比および期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。  
※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

### ●特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比
投資信託	2	97.8%
現預金その他	0	2.2%
純資産総額	2	100.0%

※保険契約の解約等の異動に備えて、若干の現預金を保有しています。  
※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

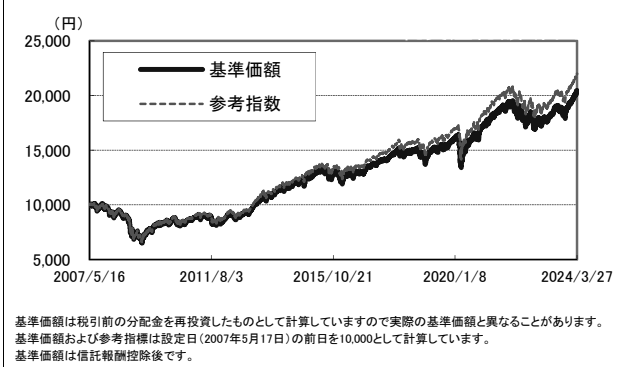
# 組入投信の運用状況

2024年3月末現在

- ベストシナリオ(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF(世界バランス55D))は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- 当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

## DIAM世界バランスファンド55VA(適格機関投資家限定) 運用レポート(2024年3月29日現在)

### 基準価額の推移(税引前分配金再投資)



### 当月末基準価額・純資産総額

基準価額	20,441円
解約価額	20,441円
純資産総額	2百万円
設定日	2007年5月17日
決算日	原則6月22日
信託期間	無期限

### 騰落率(税引前分配金再投資)

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	2.09%	5.73%	10.88%	13.63%	14.35%	36.17%	104.41%
参考指数	2.15%	5.91%	11.11%	14.39%	15.85%	39.42%	120.06%
差	-0.06%	-0.18%	-0.23%	-0.76%	-1.50%	-3.25%	-15.65%

※騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りとは異なる場合があります。

### ポートフォリオ構成

	実質組入比率	基本配分比率	差
国内株式	9.9%	10.0%	-0.1%
国内債券	29.6%	30.0%	-0.4%
外国株式	46.0%	45.0%	1.0%
外国債券	14.6%	15.0%	-0.4%
現金等	-0.1%	0.0%	-0.1%
合計	100.0%	100.0%	-

※計理処理の仕組みにより直近の追加設定分が反映されないことなどから、ファンドの実質組入比率と基本配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。  
※株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。  
※外国株式部分については、原則として為替ヘッジを行います。一方、外国債券については、為替ヘッジを行いません。なお、為替ヘッジに伴う評価損益は現金等に含まれます。

### 分配金実績(税引前)

	※分配金は1万円当たり
第14期(2021.06.22)	0円
第15期(2022.06.22)	0円
第16期(2023.06.22)	0円
設定来累計分配金	0円

※直近3年分  
※分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

### ファンドの特色

- 主な投資対象** ..... 主として国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンドの各受益証券への投資を通じ、国内株式・外国株式・国内債券・外国債券へ投資します。
- 投資方針** ..... マザーファンド受益証券への投資を通じ、内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド受益証券に含まれる外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。
- 参考指数** ..... 東証株価指数(TOPIX、配当込み)、NOMURA-BPI総合、MSCIコクサイ・インデックス(円ヘッジベース、配当込み)、FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)を基本資産配分で合成したものを参考指数としています。なお、ベンチマークは特定しません。

### 各マザーファンドのベンチマーク

- 【国内株式】 国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド : 東証株価指数(TOPIX、配当込み)
- 【国内債券】 国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド : NOMURA-BPI総合
- 【外国株式】 外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド : MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み)
- 【外国債券】 外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド : FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものと計算したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は
  1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
  2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
  3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

# 組入投信の運用状況

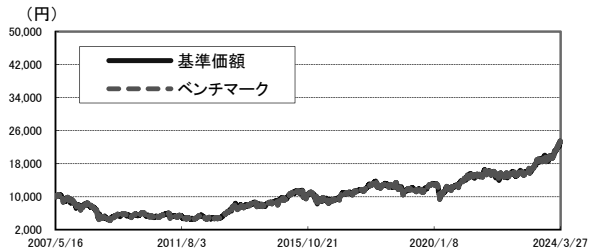
2024年3月末現在

- ベストシナリオ(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)(世界バランス55DI)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- 当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

## DIAM世界バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)

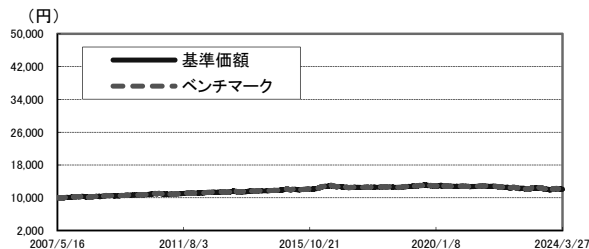
各マザーファンド運用状況(2024年3月29日現在)

### ◆国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド◆



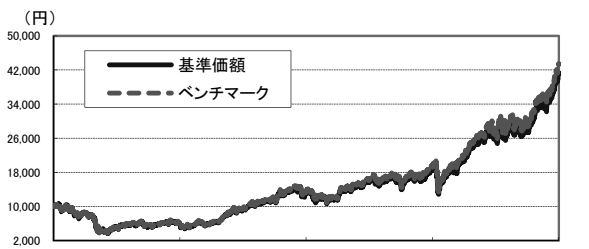
※基準価額およびベンチマークは2007年5月16日の値を10,000として計算しています。

### ◆国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆



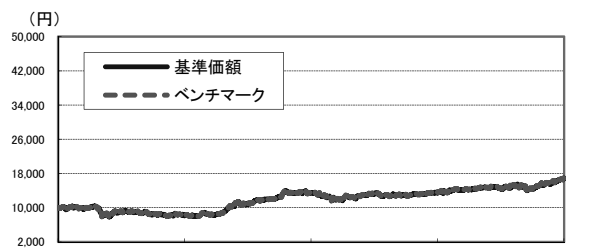
※基準価額およびベンチマークは2007年5月16日の値を10,000として計算しています。

### ◆外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド◆



※基準価額およびベンチマークは2007年5月16日の値を10,000として計算しています。

### ◆外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆



※基準価額およびベンチマークは2007年5月16日の値を10,000として計算しています。

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、当社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものである基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- 2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

### 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	4.43%	18.14%	20.54%	41.35%	52.56%	96.25%	133.23%
ベンチマーク	4.44%	18.14%	20.55%	41.34%	52.53%	96.19%	133.40%
差	-0.01%	-0.01%	-0.00%	0.01%	0.03%	0.06%	-0.17%

### 純資産総額

580,763 百万円

※設定来の騰落率は2007年5月16日を基準に算出しています。

※ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX、配当込み)です。

■東証株価指数(TOPIX)の指数値および東証株価指数(TOPIX)にかかる商標または商標は、株式会社JPIX総研または株式会社JPIX総研の関連会社(以下「JPIX」という)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX)に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)にかかる商標または商標に関するすべての権利はJPIXが有しています。JPIXは、東証株価指数(TOPIX)の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPIXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPIXは責任を負いません。

### 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	-0.11%	-0.54%	0.35%	-2.21%	-5.04%	-5.88%	20.86%
ベンチマーク	-0.11%	-0.51%	0.37%	-2.20%	-4.98%	-5.82%	21.34%
差	-0.00%	-0.03%	-0.03%	-0.01%	-0.05%	-0.06%	-0.48%

### 純資産総額

535,722 百万円

※設定来の騰落率は2007年5月16日を基準に算出しています。

※ベンチマークは、NOMURA-BPI総合です。

■NOMURA-BPI総合の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	4.17%	15.87%	22.90%	43.71%	78.75%	149.33%	313.41%
ベンチマーク	4.24%	15.87%	23.10%	44.19%	80.28%	152.77%	335.15%
差	-0.07%	-0.00%	-0.20%	-0.48%	-1.53%	-3.44%	-21.74%

### 純資産総額

1,453,295 百万円

※設定来の騰落率は2007年5月16日を基準に算出しています。

※ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み)です。

■MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に属しており、また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

### 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	1.25%	4.37%	8.01%	14.94%	16.67%	27.85%	68.88%
ベンチマーク	1.35%	4.39%	8.20%	15.17%	16.93%	28.19%	69.81%
差	-0.10%	-0.02%	-0.19%	-0.22%	-0.26%	-0.34%	-0.93%

### 純資産総額

260,207 百万円

※設定来の騰落率は2007年5月16日を基準に算出しています。

※ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)です。

■FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

# 組入投信の運用状況

2024年3月末現在

- ベストシナリオ(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)(世界バランス55DI)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- 当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

## DIAM世界バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)

各マザーファンド組入状況(2024年3月29日現在)

### ◆国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド◆

※比率は組入株式評価額に対する割合です。

#### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数:2140銘柄)

No.	銘柄	業種	比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	5.32
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.39
3	ソニーグループ	電気機器	2.35
4	東京エレクトロン	電気機器	2.14
5	三菱商事	卸売業	1.81
6	キーエンス	電気機器	1.78
7	日立製作所	電気機器	1.72
8	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.59
9	信越化学工業	化学	1.51
10	三井物産	卸売業	1.44

※株式には新株予約権証券を含む場合があります。

#### 組入上位10業種

No.	業種	比率(%)
1	電気機器	17.40
2	輸送用機器	9.50
3	卸売業	7.41
4	銀行業	7.41
5	情報・通信業	7.26
6	化学	5.72
7	機械	5.62
8	サービス業	4.43
9	医薬品	4.26
10	小売業	4.22

### ◆国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入債券評価額に対する割合です。

#### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数:658銘柄)

No.	銘柄	比率(%)
1	3 5 0 回 利付国庫債券(10年)	1.93
2	4 5 6 回 利付国庫債券(2年)	1.74
3	4 5 0 回 利付国庫債券(2年)	1.65
4	3 5 8 回 利付国庫債券(10年)	1.43
5	1 4 5 回 利付国庫債券(5年)	1.37
6	1 5 6 回 利付国庫債券(5年)	1.35
7	1 6 0 回 利付国庫債券(5年)	1.33
8	3 6 9 回 利付国庫債券(10年)	1.26
9	3 6 7 回 利付国庫債券(10年)	1.25
10	3 6 6 回 利付国庫債券(10年)	1.14

#### セクター別比率

セクター	比率
国債	85.03%
地方債	5.33%
金融債	0.30%
政保債	1.05%
社債	7.11%
円建外債	0.07%
MBS	1.10%
ABS	0.00%
合計	100.00%

#### ポートフォリオの状況

	ファンド
最終利回り	0.70%
平均クーポン	0.68%
平均残存期間(年)	9.90
修正デュレーション	9.06

※ポートフォリオの状況は純資産総額を基に計算

### ◆外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入株式評価額に対する割合です。

#### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数:1248銘柄)

No.	銘柄	国	業種	比率(%)
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	4.87
2	APPLE INC	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	4.13
3	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.66
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	大規模小売り	2.75
5	META PLATFORMS INC	アメリカ	インターネット・メディアおよびサービス	1.77
6	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	インターネット・メディアおよびサービス	1.47
7	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	インターネット・メディアおよびサービス	1.29
8	ELI LILLY & CO	アメリカ	医薬品	1.03
9	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	0.97
10	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	0.95

※株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。

#### 組入上位10カ国

No.	国	比率
1	米国	72.97%
2	英国	3.70%
3	カナダ	3.33%
4	フランス	3.08%
5	スイス	2.95%
6	ドイツ	2.40%
7	オランダ	2.03%
8	オーストラリア	1.96%
9	アイルランド	1.88%
10	デンマーク	1.01%

#### 組入上位10業種

No.	業種	比率
1	ソフトウェア・サービス	10.19%
2	半導体・半導体製造装置	8.40%
3	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.99%
4	資本財	7.14%
5	金融サービス	6.82%
6	メディア・娯楽	6.37%
7	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.63%
8	銀行	5.56%
9	一般消費財・サービス流通・小売り	4.96%
10	エネルギー	4.69%

### ◆外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入債券評価額に対する割合です。

#### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数:877銘柄)

No.	銘柄	通貨	比率(%)	残存年数
1	CHINA GOVERNMENT BOND 2.69 08/12/26	オフショア人民元	0.57	2.369
2	CHINA GOVERNMENT BOND 2.68 05/21/30	オフショア人民元	0.52	6.144
3	US T N/B 1.875 02/15/32	米ドル	0.51	7.878
4	US T N/B 1.25 08/15/31	米ドル	0.50	7.378
5	US T N/B 1.0 07/31/28	米ドル	0.48	4.339
6	US T N/B 3.875 08/15/33	米ドル	0.46	9.378
7	CHINA GOVERNMENT BOND 3.03 03/11/26	オフショア人民元	0.45	1.950
8	US T N/B 1.625 05/15/31	米ドル	0.44	7.128
9	US T N/B 2.875 05/15/32	米ドル	0.43	8.128
10	US T N/B 1.375 11/15/31	米ドル	0.43	7.628

#### 通貨別比率

通貨	物物
USDドル	47.32%
カナダドル	2.06%
メキシコペソ	0.90%
イギリス・ポンド	5.19%
デンマーク・クローネ	0.27%
ノルウェー・クローネ	0.17%
ユーロ	31.91%
スウェーデン・クローネ	0.19%
ポーランド・ズロチ	0.55%
オーストラリア・ドル	1.36%
ニュージーランド・ドル	0.24%
シンガポール・ドル	0.41%
マレーシア・リンギット	0.48%
オフショア・人民元	8.61%
イスラエル・シェケル	0.32%
合計	100.00%

#### ポートフォリオの状況

	ファンド
最終利回り	3.68%
平均クーポン	2.37%
平均残存期間(年)	8.30
修正デュレーション	6.52

※ポートフォリオの状況は純資産総額を基に計算

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額(元本保証および利回り保証のいずれもありません)。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したもとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は
  1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
  2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
  3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

# 組入投信の運用状況

2024年3月29日現在

- 東証株価指数(TOPIX)の指数値および東証株価指数(TOPIX)にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX)に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、東証株価指数(TOPIX)の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
- NOMURA-BPI総合の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に属しており、また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

## ◆用語解説◆

### ■ 基準価額

投資信託に組み入れている株式や公社債などをすべて計算日の時価で評価し、債券の利息や株式の配当金などの収入を加えて資産総額を算出します。そこから投資信託の運用に必要な経費等を差し引いて純資産総額を出し、さらに計算日の受益権口数で割ったものです。

### ■ 参考指標

当ファンドが投資する各マザーファンドのベンチマークを、基本配分比率で合成したものを参考指標とします。

### ■ ファミリーファンド

ファンドが特定のファンドに投資する形態の商品設計のものをさします。受益者が購入するファンドをベビーファンド、そのファンドが投資するファンドをマザーファンドといいます。実質的な運用はマザーファンドで行うことにより運用の効率化を図ります。

### ■ ベンチマーク

ベンチマークとは、市場平均を表す指標のことで、運用実績の良し悪しを判断するための基準値となるものです。なお、パッシブ運用においては、定められたベンチマークの動きに連動する運用成果を目標とします。

### ■ デュレーション

デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を意味するもので、債券デュレーションが長いほど金利変動に対する価格感応度が高くなります。このため、債券投資におけるリスク尺度として使用されています。

### ■ イールドカーブ

イールドカーブとは、公社債の償還までの期間(残存年数)を横軸、利回りを縦軸にとり、グラフを描き、描かれた曲線をいいます。利回り曲線とも言い、金利の期間構造の分析に用いられます。

### ■ クーポン

クーポンとは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことで表面利率をあらわします。

### ■ 為替ヘッジ

外貨建て資産に投資する際の為替変動リスクを回避する手法のことをいいます。なお、為替変動リスクとは、為替相場は、日々変動するため、海外の市場に投資する場合や、外貨建ての金融商品に投資する場合、為替変動によって差損益が生じる可能性があることをいいます。

■当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。■当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。■当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとするとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。■当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

## ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用は、契約時の下記「契約初期費用」、運用期間中の下記「保険関係費用(保険契約管理費)」および「資産運用関係費用(資産運用管理費)」、年金受取期間中の下記「保険関係費用(年金管理費)」を合計した金額となります。

	項目	内容	費用	備考(適用時期等)
ご契約時	契約初期費用	当保険の新契約成立等のために必要な費用	一時払保険料の <b>4%</b>	特別勘定(ファンド)への繰入前に一時払保険料から控除します。
運用期間中	保険関係費用(保険契約管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	特別勘定(ファンド)の純資産総額に対して年率 <b>2.55%</b>	特別勘定(ファンド)の純資産総額に対して年率2.55%/365日を乗じた額を毎日控除します。
	資産運用関係費用*(資産運用管理費)	特別勘定(ファンド)の運用に係る費用	特別勘定(ファンド)の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して年率 <b>0.275%</b> 程度(税抜0.25%程度)	特別勘定(ファンド)の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して年率0.275%程度/365日を乗じた額を毎日控除します。
年金支払期間中	保険関係費用(年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して <b>1.0%</b> 以内	年金支払開始日以降、年1回の年金支払日に責任準備金から控除します。

\*資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

## 投資リスクについて

この商品をご契約者から払い込まれた一時払保険料を積立金として特別勘定(ファンド)で運用します。この商品の特別勘定(ファンド)は国内外の株式および債券等の各資産を主要投資対象とする投資信託等に投資することにより運用を行います。この商品では、特別勘定(ファンド)の運用実績が将来お受け取りになる年金額・解約払戻金額・死亡保険金額等の変動(増減)につながるため、高い収益性が期待できる反面、投資の対象となる株価や債券価格等が下落した場合には積立金額も下落します。

また、外国株式や外国債券を投資対象としている場合は為替相場の影響を受けますので、為替相場の変動により積立金額が下落する場合があります。その結果、解約払戻金額・年金原資等が払込保険料総額を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。これらのリスクはご契約者に帰属することになりますので十分ご注意ください。

## ご注意いただきたい事項

- 「ベストシナリオ(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- 「ベストシナリオ(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも年金受取総額で基本保険金額の100%を最低保証します。ただし、年金の受取方法は確定年金(年金支払期間15年)のみとなり、一括受取を希望される場合は基本保険金額の90%を最低保証します。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。


### 【募集代理店】

株式会社みずほ銀行

### 【引受保険会社】

東京海上日動あんしん生命保険株式会社  
ホームページ <https://www.tmn-anshin.co.jp/>

ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ

 **0120-155-730**

受付時間 平日 9:00~17:00  
(土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)



\*200201\*